

所長だより第52号 平成29年5月8日

希望の船

We love BIWAKO

「みずうみに 学んで世界の 明日をひらく人」

滋賀県立びわ湖フローティングスクール
〒520-0047 大津市浜大津5丁目1番7号
<http://www.uminoko.jp/>

「うみのこ」のラストイヤー出航

【所長 青木 正士】



4月25日（火）、澄み渡った青空のもと、学習船「うみのこ」が彦根市立城西小学校、城北小学校、亀山小学校の子どもたち138名を乗せて彦根港から出航し、今年度96回の児童学習航海がスタートしました。

今年度の「湖の子」出航式には、滋賀県教育委員会青木洋教育長様、彦根市教育委員会善住喜太郎教育長様をはじめ多くの御来賓の皆様方の御臨席をいただきました。

「うみのこ」就航から35年目となる今年度は、児童学習航海96航海（琵琶湖に学ぶ交流航海7航海を含む）と県外の方にも乗船いただく親子体験航海を2航海、航海当日乗船できなかった子どもたちを対象とした「湖の子」体験航海を1航海、他機関主催の沖島ぐるっと一周航海を1航海、合計100航海を実施します。

さて、フローティングスクールでは、「みずうみに学んで世界の明日をひらく人」の育成をめざしています。未来を生きる子どもたちが、フローティングスクールで学んだことを活かし、びわ湖や世界のために何らかの行動をしてほしいという願いです。そのために、航海前から航海を終えてからの学習までつながりのある指導計画を立案して体験学習を実践することにしています。児童が自ら進んで、多くの友達と話し合いながら、どんどん学びを深めてもらいたいものです。

「うみのこ」での学習には、琵琶湖から見える島や風景の展望活動があります。普段、琵琶湖から自分たちの住む滋賀県の陸地や、湖の中の島を見るということはほとんどありません。湖上から一人ひとりがそれぞれの目で私たちの滋賀を見て、気づき、考えることが大切です。また、琵琶湖の水のこと生きものなことなどを通して、驚き疑問に思うことも大切です。この感動が、琵琶湖の環境について考えたり、自分自身の生き方について考えたりするきっかけになっていきます。

今年度、現在の学習船「うみのこ」による航海は最終年度となります。ラストイヤーの出航に当たり、これまで乗船した52万人の児童の思い出がつまった、この「うみのこ」に感謝の思いを込めながら、平成29年度びわ湖フローティングスクール全96回の児童学習航海の安全と、乗船する児童のみなさんの充実した学び、心と身体のたくましい成長を祈念いたします。

あわせて、今年度末には新しい学習船が竣工する予定です。次年度の就航に向け、新たな機器を導入し学習内容もグレードアップして参ります。どうぞご期待ください。